

# ふる〜ぶ

吉野川ファン通信

VOL.84

2007/2

Fleuve:「ふる〜ぶ」はフランス語で海にそそぐ大河のことです。  
ひと、まち、自然、歴史、風景などの吉野川をとりまく様々な表情をみなさんにお伝えします。



## 1 page [特集] 吉野川アラカルト

### ひょうたん島遊覧船で 観光の活性化を!

「水の郷百選」にも選ばれている徳島市。  
この美しい水と緑の街をPRする  
観光ガイドボランティア活用事業をご紹介します。

## 3 page 吉野川いまむかし 阿波市から眺める高越山編

## 4 page ふる〜ぶ編集部がおじゃましま〜す! 城東小学校 住吉干潟から学ぼう

## 5 page ふる〜ぶめいと通信 高越山高越寺の掛軸

## 6 page Ra♪Ra♪Ra♪エッセイ 冬元気ハーブ

ふる〜ぶ INFORMATION  
吉野川の春を愛でよう。  
野草バイキングと紙ヒコーキ大会!

## 7 page よりよい吉野川づくり<第21回> 第2回 吉野川学識者会議が開催されました。

ふる〜ぶひ・ろ・ば  
編集後記・今月の表紙イラスト・プレゼント



# ひょうたん島遊覧船で観光の活性化を!

徳島市内には吉野川をはじめ大小138の河川が流れ、1,650あまりもの橋がかかっています。徳島市は国土交通省の「水の郷百選」にも選ばれている水と緑の街です。

徳島市中心部を流れる新町川や助任川に囲まれた中洲は、上から眺めると、ひょうたんのよう形に見えることから別名「ひょうたん島」と呼ばれ、親しまれています。

徳島商工会議所では、この水辺の景観を含め、徳島市内の観光資源を一体化・連携させ、全国に発信するための観光資源活性化事業に取り組んでいます。この事業は、中小企業庁が平成18年度から始めた「小規模事業者新事業全国展開支援事業」の一環で、

①街なか阿波踊り(練習)風景事業 ②発光ダイオード活用事業

③徳島食材料理開発事業 ④観光ガイドボランティア活用事業

の4つの事業に取り組みました。今回は、この中から、ふる〜ぶ編集部の一人も班員として関わった観光ガイドボランティア活用事業をご紹介します。



## 観光ガイドボランティア乗船

新町川で毎日、NPO法人「新町川を守る会」により無料で運航されている「ひょうたん島遊覧船」。

その周りに見える風景に歴史や観光資源があります。シナリオ案を活用班メンバーが用意し、テスト運航を行ったあと「もっとこんな紹介を入れた方がいい」「徳島らしさをだすために阿波踊りの『よしこの』を歌えばいいのでは」といった具体的な案が、提案されました。

そして、平成18年10月、11月の2ヶ月間、毎週土曜日と日曜日の午後1時の便には必ず、「とくしま観光ガイドボランティア」が

交代で乗船し、案内を実施しました。シナリオ通りに紹介

するのではなく、

ガイドの得意分野によって、橋を中心に紹介する人、歴史を中心に紹介する人など、同じコースでも違う船に乗っているかのようになりました。また、盲導犬を連れた方々が、ガイドの説明を

全国から聞きに乗船し好評をえました。ガイドのみなさんからは、「2ヶ月間乗るだけでも船から見える景色や感じる風に移り変わりがあることを知りました。徳島がこんなにきれいで、水に恵まれた街であることを誇りに思いました」など、乗船する観光客だけでなく案内するガイドの皆さんもいろいろと感じたようです。

左に見えるのがケンチョピアヨットハーバー。正面に見えるのは眉山。クルーズ船ならではの風景が広がります。



毎回多くの人々が乗船しています。

今までガイドは乗船していませんでした。活用班の1回目の会議で「新町川を守る会」(中村英雄理事長)と「とくしま観光ガイドボランティア会」(梯学会長・21名)

に協力を依頼し、ガイドが乗船することにより、歴史や観光地などを紹介していくことが決まりました。

ひょうたん島遊覧船では20の橋の下を通っていきますが、それぞれ橋や



乗船待ち風景



観光ガイドボランティアも楽しそう。



## この人インタビュー



webデザイナー  
佐藤あすかさん

今回30分間の運航時間で観光ガイドボランティアが話す

シナリオを作成した佐藤さん。学生時代には人形浄瑠璃や阿波踊りといった伝統芸能を研究し、取り組んだ卒業論文も阿波踊りのルーツになる踊りについてでした。雑誌編集者を経て、地元でWebデザインや、文章作成などを手がけています。眉山と県庁前のケンチョピアが見える風景は特にお気に入りの場所です。

シナリオには、ひょうたん島遊覧船でくぐっていく20ある橋の紹介のみならず、藍染めや阿波踊りの歴史、映画「バルトの楽園」の主人公のモデルとなった松江豊寿にまつわる話など、幅広いエピソードが盛り込まれ

さんからは「関寛斎という司馬遼太郎の小説にもなったお医者さんがいる」「与謝野鉄幹、晶子夫妻も訪れて歌を残した」など、佐藤さんの知らなかった多くのエピソードを教えてもらったそうです。今回苦労したところは、シナリオに入れるためには、聞いた話をそのまま取り入れるのではなく、史実を調査し裏付けをしてからいれなくてはいいけ

ています。

今回のシナリオ作成にあたり、観光ガイドボランティアのみな

かったこと。ひょうたん島周辺を歩くことと、史実の調査の連続でした。

今回のシナリオ作成で「徳島に住んでいても知らないことが、たくさんあることを知りました。徳島の歴史ってすばらしい。特に川

を通じた歴史。徳島の文化と歴史は、川と切り離して考えることはできないと思いました。1周6kmのコースで1つのストーリーが完成するようにまとめてみました。今は車社会ですが、

昔、徳島は川を中心に輸送が行われて、人やものの流れだけでなく、多くの文化や歴史を水辺ではぐくんでいていることを実感しました」と話してくれました。



関寛斎氏 胸像

## 観光ガイドボランティア アンケート結果

観光ガイドが乗船した10月11月の乗客397名を対象にアンケートが行われました。その結果、

◆県外客…**25%**

◆乗船回数…初めて**69%** 2回以上の乗船**31%**

◆観光ガイドについては…いたほうが良い**93.5%**

以上のような結果から、好評であったことが分かりました。

徳島商工会議所ではこのアンケート結果をふまえ、来年度も、他に開催された事業とも連携し、今回の制度をより発展させ、観光客の増加や徳島市中心市街地へ多くの方々に訪れてもらえるように事業展開を行っていくことにしています。みなさんも是非、ひょうたん島遊覧船に乗り、徳島市の中心市街地に遊びにきてみませんか。

## ひょうたん島遊覧船

乗船無料(保険料:100円)

**場 所** 徳島市 新町川水際公園ボートハウス前から毎日出航(雨天時を除く)  
**運 航 時 間** 1月～6月、9月～12月は13時から40分毎に1日5回運航。  
7月・8月は17時から40分毎に5回運航。  
**問い合わせ先** 090-3783-2084

## プレゼント



今回、アンケート回答者用に作成された「ひょうたん島遊覧船乗船記念オリジナルてぬぐい」(限定品)。徳島を象徴する眉山とひょうたん島をイメージしたかわいいてぬぐいです。抽選で10名様にプレゼントします。(提供:徳島商工会議所)希望の方はハガキ、またはFaxに住所、氏名、電話番号、誌面の感想を書いてご応募ください。締切は2月28日(水)です。



〒771-1156  
徳島市応神町応神産業団地  
13-28  
ふる〜ぶ編集部  
「てぬぐいプレゼント」係  
Tel&Fax:(088)623-6085

# 吉野川 いま むかし

このコーナーでは、吉野川の  
今と昔の写真を見ることによって、  
ふるき時代をみつめ、  
未来の吉野川を創造します。

## 阿波市から眺める 高越山編



### 高越山と吉野川

割石家の2階から撮影されたもの。高越山と吉野川がよく見えます。



今

現在の割石家2階の同じ場所から撮影させていただきました。堤防もできたことから吉野川は見えなくなり、電信柱も立てられています。



### 冠雪した高越山と吉野川

小さな舟が遠くに見えます。瀬詰渡しがこのあたりにはありました。高越山の雪も山頂だけでなく、ふもとにも積もっています。



昔

平成18年12月18日撮影。  
この日も山頂に少し雪が積もっていました。現在はふもとにまで雪が積もることはなかなかありません。山の形から、ほぼ同じ場所であろうと思われるところで撮影しました。



今



### 吉野川と平田船

多くの平田船が藍や木炭、<sup>こうそ</sup>楮などを積んで吉野川を行き交っていました。重なる山の後ろの稜線は高越山です。



昔

現在では瀬詰大橋もあり、平田船や渡し船の姿は見られなくなりました。



今



### 旧阿波町伊沢付近の 吉野川北岸

堤防はまだできていない頃でした。



昔



# ふる〜ぶ 編集部が おじゃまします!



10月に開催された観察会。

## 城東 小学校 の巻

吉野川河口の干潟のことを、城東小学校の児童たちは「住吉干潟」と呼んで親しんでいます。学校から散歩で行ける距離に、吉野川河口干潟があり、干潟の学習に取り組んでいます。毎年2年生は、春夏秋冬に干潟の観察会を行い、年に1度、PTAの主催で保護者と児童と一緒に国土交通省主催の河川一斉清掃の日にあわせ、観察会と清掃を行っています。吉野川河口干潟は、シギ・チドリ類の重要な飛来地となっており、トビハゼ、シオマネキ等の干潟に生息する生物がいます。

今回は昨年10月に開催された1年生と6年生による干潟の観察会と、11月に開催された2年生の観察会に同行させていただきました。

1年生と6年生には、わくわくペアがあり、春から組みあわせを決めて、干潟の観察会にペアで行ったり、一緒に給食を定期的に食べたりと、さまざまな形で活動を行っています。1年生にとって6年生はやさしいお兄さん、お姉さんのような存在です。1年生の時から干潟の学習に取り

組んでいるので、6年

生が1年生に干潟の良さを伝える役目を担い、教えてあげるためにもう一度干潟について学びを深めています。干潟でも「これがチゴガニだよ」と、見つけたカニの種類を教えてあげていました。



## 「住吉干潟から学びたい」

12月には、一緒に干潟オリエンテーリングをしました。干潟にいる生き物や植物に関するクイズの作成や、ゴミ拾いゲームなどを6年生が企画運営し、1年生と一緒に歩いて楽しみながら学習を深めました。

2年生の秋の観察会では、シオマネキといったカニの観察だけではなく、春、夏の観察会の時とは違って、葦の色の違い、スジアオノリの養殖が始まっていること、渡り鳥がいることなどさまざまなことに気がついたようです。渡り鳥が一斉にとぶと「うわー」という歓声もあがっていました。四季折々に自分の肌で季節の移り変



シオマネキ発見!

わり、生物や植物がどう

かわっていくのか感じているようです。

観察会では、どの学年の子どもたちも「今日は前回の観察会をしたときよりも、シオマネキがたくさんいるよ」「干潟の水の温度が違うよ」「コメツキガニをみつけたよ」と教えてくれました。もちろん、観察をした時に見つけたカニやエビは、そっと干潟に返してあげていました。

先生は、「大人になったときに故郷に帰ってきて、吉野川を支える大人になってほしい。地域やくらしのことを考える大人に育っていってもらえれば」と話してくださいました。今後も城東小学校では、校区内にある住吉干潟を学習の題材としてとりあげ、故郷を知り、守っていく活動を続けていきたいとのことでした。



熱心に観察する児童

## 吉野川ミニ辞典

### か がいらいしゅ 外来種

外来種とは、もともとその地域に生息していなかったのに、人間の手によって持ち込まれた生物のことをいいます。

近年吉野川の河原においても、シナダレスズメガヤが急激に繁茂し、治水、環境両面において、問題を引き起こすことが懸念されています。

徳島河川国道事務所では、平成16、17年度にわたって、吉野川シナダレスズメガヤ対策検討委員会を設置し、試験的な対策や、モニタリング調査を実施しながら、対策を検討しました。

なお今後も継続したモニタリングを行うことにより、動植物の良好な生息、生育環境の保全に努めることとしています。



▲シナダレスズメガヤ





「ふる～ぶめいと」は、  
吉野川が大好きな  
人たちの集まりです。

「ふる～ぶめいと」の活動は、吉野川や吉野川流域に関する身近な情報を「ふる～ぶ」に提供することにより、吉野川に親しみや、関心を持っていただいて、吉野川ファンの輪を広げていただくことを目的にしています。

めいと  
レポート

## 高越山 高越寺の掛軸

阿波市 森 澄子さん

吉野川市山川町に高越山(1133m)

があり、吉野川北岸から望む景色は、阿波富士といわれるほど美しい山です。その高越山高越寺は7世紀ごろ、役の行者が開いたとされ、僧、空海が28才ごろ(801年)に、高越山に来て、修行したと伝えられています。真言宗大覚寺派とされながらも、千手観音・金剛蔵王権現・役の行者を祭っていました。古くから京都と縁があり資料が多く日本霊異記をはじめ、吾妻鏡・九条家文書・細川家文書など古文書に数多く登場し当時の様子が記されています。



わが家に高越寺の掛軸が二軸残されています。高越大権現の掛軸には、西山上高越寺と書かれています。山伏修験道の総本山とされる吉野蔵王権現と1体分身で吉野権現を東山上と称するに対して、西山上と言われ、8月18日の夏祭りには、修験者が多く集まり護摩が焚かれます。また、十六善神と言われる掛軸は、阿州西山上高越寺と書かれ、神仏習合時代(江戸時代)のものと思われます。中央に釈迦・獅子に乗る文殊菩薩、象に乗る普賢菩薩、その下の若き僧は、空海。向かって右側に釈迦の母・摩耶夫人、その下に神童といわれた聖徳太子、右端には教典が多く入った荷を背負う三蔵法師。

まわりに弓、オノ、槍、剣を持つ戦士のような十六善神。左端には、擬人化された猪の顔をもつ動物がどくろの首輪。手にへびをつかみ、仁王立ち、怪奇性と神々しさを持った絵画で、「作られた時代は?」「作者は?」と思うくらいの

出来栄え。高越寺の高梵茂洋(現)住職に手紙と電話での取材では、「昔、掛軸の版木があったが、今はなく、掛軸を持っている古からの信者さんから借りて復古版を作り、信者さんにお分けている」とのお話。

今の分には阿州は、入っていないとのこと。

わが家の阿州の文字入り十六善神は幾何学的な細い線、花や雲の模様がぎっしりと描かれ、まるで細字ペンで書かれた様で、版木による太い線、銅板画による細い線より、まだ精密な高度の技術を、吉野川の近く高越寺の山寺が残せたその驚き、これらの画が、時空を越えてあなたに飛び込んでくるように感じませんか?







## ハーブ農園 からの風

このコーナーでは、「ふる～ぶめいと」の黒川慶子さんにハーブの楽しみ方を中心に、食と健康、水の大切さなどについて語っていただきます。楽しいレシピなども登場しますよ。

### 冬元氣ハーブ

今回は、厳寒期を迎えても尚元氣な葉物ハーブをご紹介します。

#### ロケット(別名ルッコラ)

アブラナ科キバナスズシロ属の一年草です。半耐寒性ですが、マイナス10℃くらいまでは大丈夫のようです。原産地は、地中海沿岸。古代ギリシャ・ローマ時代からコリアンダーやスイートバジルなどとともに盛んに利用されてきました。



右/ロケット  
左/マーシュ

#### クレソン(別名ウォータークレス)

ビタミソ A・C・D・E・カルシウムなどを豊富に含み、サラダやスープ、ソース、おひたしに

して食べます。利尿、去痰、造血作用があり、貧血を予防するといわれています。耐寒性が強いので、真夏を除けば(やや耐暑性に欠ける為)周年栽培できます。

#### マーシュ(別名コーンサラダ)

へら形の小さな葉は、マイルドですがこくがあり、他のサラダ野菜に少し加えるだけでもとても存在感があります。早朝、冬の寒さで葉が凍っていても日がさしてくると元氣そのものです。

ホースフディッシュ(和名西洋わさび)は寒い時期が収穫期です。

早春には、鉢やプランターで簡単に栽培できるこれらの種をまき、サラダガーデンにはいかがですか！

#### 【黒川慶子さん経歴】

ハーブコーディネーター  
板野町でハーブ農園を営む。  
食と健康について、講演も務める。  
徳島県薬草協会会員  
上板町薬草協会会員

## ふる～ぶ INFORMATION

### 吉野川の春を愛でよう。 野草バイキングと紙ヒコーキ大会!



日差しもやわらかさを増し、堤防も若草色に染まる3月、吉野川に出かけてみませんか?

この会では、野草を摘み、野趣あふれた料理を作って、バイキング形式で食べます。よもぎ白玉だんご(あんこ、きなこ、黒蜜がけ)や、野草の酢味噌あえ、野草のてんぷらを実際に作ってみましょう。よもぎのおにぎりもご用意します。また、お子さんには、新聞のチラシでできる簡単な紙ヒコーキの作り方を紹介。実際に作って、紙ヒコーキ大会を開催します。素敵な賞品も用意しています。吉野川に親しみ、吉野川を考え、吉野川の魅力を感じてみませんか?

講 師	吉野川ファン通信ふる～ぶ 『ふる～ぶめいと』リーダーのみなさん
日 時	平成19年3月4日(日) 9時から14時 少雨決行。荒天の場合は、まえもって摘んでいた野草で調理を行い、野草摘みをやめ、紙ヒコーキ大会のみを行います。
場 所	石井河川防災ステーション 名西郡石井町藍畑西覚門
募集人員	25名。お子さんと保護者。または、個人での参加も受付ます。基本的に、お子さんは、白玉だんごのみ調理を行います。特に年齢制限は、ございません。
参加費	ひとり300円程度(保険料込み)但し参加人数により増減あり。
締切・申し込み方法	平成19年2月21日(水) 氏名、年齢、住所、電話番号、郵便番号を記入のうえ、はがき、またはFAXでお申し込みください。インターネットからもお申し込みが出来ます。
申し込み先	〒771-1156 徳島市応神町応神産業団地13-28 ふる～ぶ編集部「野草バイキング」係 TEL&FAX:088-623-6085 e-mail:fleuve@chime.ocn.ne.jp URL:http://e-fleuve.info/

## 第2回吉野川学識者会議が開催されました。

平成18年12月18日に公表された「吉野川河川整備計画【修正素案】」について、専門的立場の学識経験者の皆さんにご意見を伺う第2回吉野川学識者会議が、平成18年12月25日に16名の委員が出席して、徳島県建設センターで開催されました。



会議では、第1回会議でいただいたご意見などについて四国地方整備局の考え方と、どのように素案を修正したか、修正素案を提示しながら説明し、それに対して、委員の皆さんのご意見を伺うという形で進行了しました。

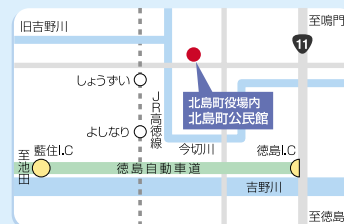
委員からは、水質について「吉野川は、多くの人々の命の水である、水質保全の重要性についても取り上げてほしい」、森林について「森林と川の水とのかかわりをどう認識しているのか」「渇水になってから、初めて協議会を開くのではなく、常時いろんな分野の人が集まって協議する場を設けてはどうか」などの意見や、近年重要視されている河川の景観については、「流域の景観を調査し、把握しておくことが必要である」などの意見も出されました。また、洪水などの緊急時、「高齢の人、病気でふせっている人などに避難すべき情報をどのように伝達するのか」などと、災害弱者の観点にたった意見もあり、学識者それぞれの専門分野から多くの意見が出されました。

四国地方整備局では、今回の「学識者会議」、今後開かれる「流域住民の意見を聴く会」、「流域市町村長の意見を聴く会」の意見をもとに、【修正素案】をさ

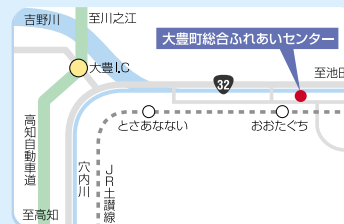


らに練り直していく作業を繰り返し、河川整備計画の策定を進めていくこととしています。

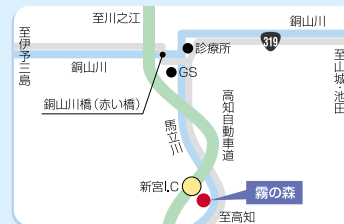
## 今月の第2回 吉野川流域住民の意見を聴く会 開催情報



**2月4日(日) 下流域**  
北島町公民館  
(北島町役場7F大ホール)  
13時～17時(受付12時～)  
参加定員100名



**2月10日(土) 上流域**  
【高知県会場】  
大豊町総合ふれあいセンター  
3F多目的ホール  
13時～17時(受付12時～)  
参加定員100名



**2月11日(日) 上流域**  
【愛媛県会場】  
霧の森 湯～館  
13時～17時(受付12時～)  
参加定員100名

会場では、ご参加の皆さんに、「吉野川河川整備計画【修正素案】」等資料をお配りしています。

【修正素案】をはじめ、全ての会の開催日時や開催結果については、下記ホームページでご覧いただけます。

また、修正素案に対するご意見も、インターネット、ハガキ、ファックスで2月末日まで、受けつけています。皆さんのご意見をお待ちしています。くわしい宛先等については、下記ホームページをご覧ください。

よりよい吉野川づくり吉野川水系河川整備計画については  
<http://www.yoshinoriver.info>

### ふる～ぶ編集後記

ひょうたん島のガイドの1人として乗船しました。徳島が水にめくまれた地域であることを実感。阿波踊りの「よしこの」も挑戦しました。踊って歌う阿呆になりました。(や)

寒い冬、皆さんいかがお過ごしですか?私は、取材の途中、道の駅で売られていたゆずで、ゆず茶を作っています。お湯に溶かして飲むと、あたたまりますよ(か)

### 今月の表紙イラスト



**剣山スキー場**  
毎年開催されている「剣山スノーフェス」。宝探しゲームでの一場面です。今年は2月4日(日)の10時～13時まで開催。さまざまなゲーム大会のほか、そり大会、おたのしみ抽選会も開催されます。3月12日(予定)までスキー場はオープンしています。  
【問い合わせ】剣山スキー場 TEL.0883-67-5153

### 亥の干支・しおりプレゼント

佐藤潔さんが吉野川の竹を使って作った亥の干支竹細工を抽選で2名様に。そして、大川村の風工房のみなさんが作ったしおりと、どんぐりの根付けをセットにして1名さまにプレゼントします。

ご希望の方は、「竹細工」か「風工房」を希望するか記載の上、お葉書または、FAXに住所、氏名、電話番号、誌面の感想もおかきください。締切は2月28日(水)です。

〒771-1156  
徳島市応神町応神産業団地13-28  
ふる～ぶ編集部「竹細工」もしくは「風工房」プレゼント係

